農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

439　　令和3年7月18日現在

ふりがな 氏名		たなか　ひであき 田中　英昭
所属先	所属先名称	株式会社　九州自然環境研究所
	役職名	取締役　技術主幹
専門分野		(捕獲手法)　侵入防止技術　周辺環境整備　地域合意形成 (野生動物管理（生息調査含む）　処理（焼却・減容化） 利活用（食肉利用等） その他（　　）
対象鳥獣		(シカ)　(イノシシ)　サル　クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ハクビシン　アライグマ　アナグマ カラス　カモ　ヒヨドリ　スズメ　ムクドリ その他鳥獣（　　）
対応可能地域		全国　北海道　東北　関東　北陸　東海 近畿　中国　四国　(九州)　沖縄 その他※特定の都道府県、地域（熊本県　　）
免許及び資格		(狩猟免許)　（ 銃 ：取得年　　年、　わな　：取得年平成24年 ） 鳥獣保護管理（　　） 鳥獣保護管理士（　　） その他（　　）

⑫活動実績	
活動期間	平成29年～令和2年
地域	熊本県高森町
対策の種類 ※該当に〇を記入	(捕獲手法)　侵入防止技術　周辺環境整備　地域合意形成 (野生動物管理)（生息調査含む）処理（焼却・減容化） 利活用（食肉利用等） その他（　　）
対象獣種 ※該当に〇を記入	(シカ)　(イノシシ)　サル　クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ハクビシン　アライグマ　アナグマ カラス　カモ　ヒヨドリ　スズメ　ムクドリ その他鳥獣（　　）
活動の内容	ICT機器を取り付けた箱わなを用い、行政担当者とともに機器の利用設置の検討、現地み趣、ICT機器の動作状況の確認、問題点が生じた場合の対策の検討等を行った。また、捕獲者にはイノシシの生息状況調査の結果かから、捕獲場所の検討・選定などの指導を行った。